marantz®

CD player

CD6004

取扱説明書

ご使用になる前に

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

感電注意

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

分解禁止

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

電源プラグをコンセントから抜く

● 記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

電源プラグをコンセントから抜く

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したりしたとき
- 機器内部に水や異属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。
お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。

必ず実施

ご使用は正しい電源電圧で
表示された電源電圧以外で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

必ず実施

電源コードは大切に
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

必ず実施

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

火気禁止

火や炎を近づけない
本機の上でろうそくを灯す・タバコの灰皿を使用するなどの火や炎の発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。

禁止

内部に水などの液体や異物を入れない
機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

水ぬれ禁止

水滴や水しぶきのかかるところに置かない
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
水がかかったり、濡れたりした状態で使用すると火災、感電の原因になります。

分解禁止

ねじを外したり、分解や改造したりしない
内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴り出したら
機器や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

接触禁止
高温注意

使用中、使用直後に高温となる部分には触らない
使用中、使用直後は上面や高温注意マークの付近には触れないでください。
機器の放熱のために高温となっており、触れた場合にやけどをする恐れがあります。

禁止

乾電池は充電しない
電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

水場での使用禁止

風呂・シャワー室では使用しない
火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない
こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意

付属の電源コードを使用する

他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。
電流容量などの違いにより火災・感電の原因となることがあります。

必ず実施

禁止

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは

電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるように設置する

電源のスイッチを切ってもコンセントからは完全に遮断されていません。
万一の事故防止のため、本機をコンセントの近くに置き、すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるようにしてください。

必ず実施

機器の接続は説明書をよく読んでからおこなう

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従っておこなってください。
また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

必ず実施

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

必ず実施

禁止

電池を交換するときは

- 極性表示に注意し、表示どおりに正しく入れる
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

間違えると電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

禁止

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光のあたるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

必ず実施

壁や他の機器から少し離して設置する

放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

禁止

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いたりして使用する

禁止

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

手の挟み込み注意

ディスク挿入口に手を入れない

特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。
万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

指のけがに注意

禁止

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

移動させるときは

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

注意

5年に一度は内部の掃除を

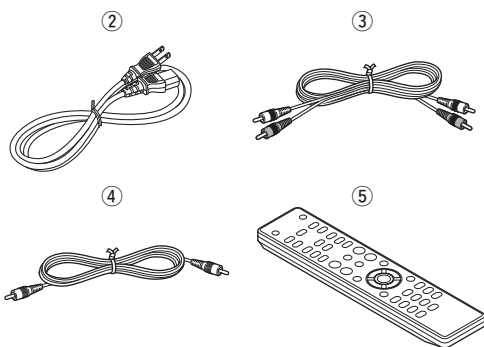
販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前に、この取扱説明書をお読みの上、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、「保証書」・「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」と共に大切に保管してください。
- この製品は持ち込み修理対象製品です。出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただくことになりますので、あらかじめご了承願います。
  詳しくは、保証書の裏面をご覧ください。

目次

付属品について

ご使用の前にご確認ください。

① 取扱説明書（本書）…………1
② 電源コード【本機専用】…………1
③ 音声ケーブル…………1
④ リモート接続ケーブル…………1
⑤ リモコン（RC004CD）…………1
⑥ 単4形乾電池…………2
⑦ 保証書（梱包箱に貼り付けています）…………1
⑧ 製品のご相談と修理･サービス窓口のご案内…………1

本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので、実物とは異なる場合があります。

本機の特長

マランツオリジナル HDAM®SA2 採用

本機には上位モデルのスーパーオーディオ CD プレーヤーやアンプで実績のある HDAM®SA2 を高速バッファーアンプとして搭載しました。
クラスを超えたハイスピードで高品位な再生をお楽しみいただけます。

シーラスロジック社製高性能 D/A コンバーター CS4398 を搭載

音質の重要な要素を占める D/A コンバーターには当社のスーパーオーディオ CD プレーヤーに採用し定評のある高精度なシーラスロジック社製 CS4398 を使用しています。

Audio EX 搭載（☞15 ページ）

デジタル出力やディスプレイ表示をオフに設定することで、アナログ出力の音声を高音質で楽しむことができます。

高品位ヘッドホン回路搭載

高速電流バッファーアンプを搭載した高品位なヘッドホンアンプ回路を搭載していますので、深夜にヘッドホンで音楽を聴く場合などに高音質で楽しむことができます。

MP3、WMA、AAC ファイル再生に対応（☞19 ページ）

CD-R や CD-RW ディスクに記録した MP3 ファイルや WMA、AAC ファイルを再生することができます。

USB オーディオ（MP3/WMA/AAC/WAV）/ iPod 再生対応

本機では、USB 機器または iPod を USB 端子に接続することにより指定のファイル形式の MP3、WMA、WAV、AAC ファイルが再生できます。

クイックリプレイ機能（音楽 CD のみ）（☞15 ページ）

再生中、リモコンの **Q.REPLAY** ボタンを押すだけで、設定した時間（設定範囲：5～60 秒）だけ前に戻って再生できます。

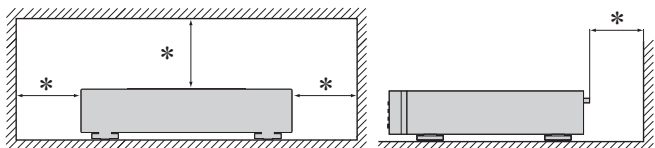
CD-TEXT 表示対応

CD-TEXT とは従来の音楽 CD にアルバム名、曲名などの文字情報を記録した音楽ディスクです。次のようなロゴが付いた CD が対応しています。

これらの文字情報は、従来の音楽 CD では使用されていなかった部分に記録されています。
本機ではディスクに記録された文字情報を見ることができます。（英数字のみに対応しています。）

取り扱い上のご注意

設置について

本機内部の放熱をよくするために、壁や他の機器との間は、十分に離して設置してください。

＊ 10cm 以上離す

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音（ノイズ）が入る場合があります。携帯電話は、本機から離れた位置でご使用ください。

換気についてのご注意

本機をタバコなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

結露（つゆつき）について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部に水滴が付くことがあります（結露）。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1 ～ 2 時間放置してから使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、やわらかい布を使用して軽く拭き取ってください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

移動させるときのご注意

最初にディスクを取り出して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
次に、機器間の接続ケーブルを外してから移動してください。

ディスクについて

本機で使用できるディスク

❶ 音楽用CD
本機で使用できる CD は、右のマークがついているものです。

❷ CD-R/CD-RW

ご注意

- ハート型や八角形など特殊形状の CD は再生できません。故障の原因になりますので使用しないでください。

- ご使用になるディスクや記録状態により、再生できない場合があります。
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

＊ ファイナライズとは？
録音された CD-R/CD-RW を再生対応機で再生できるように処理することです。

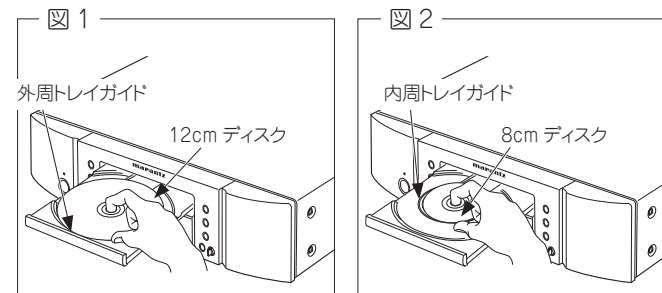
ディスクの持ちかた

ディスク情報面に触らないようにしてください。

ディスクの入れかた

- レーベル面（印刷面）を上にして入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12cm ディスクは外周トレイガイド（図 1）に合わせ、8 cm ディスクは内周トレイガイド（図 2）に合わせて、水平に載せてください。

図 1

図 2

- 8 cm ディスクは、アダプターを使用せずに内周トレイガイドに合わせて入れてください。

- ディスクトレイに DVD など本機が対応していないディスクを入れると、ディスプレイに“SubQ Error”を表示します。その後 ⏏ ボタンを押すと、60 秒後にディスクトレイが開きます。
- また、MP3 や WMA 以外のファイルのみ入っているディスクをディスクトレイに入れると、“No File”を表示します。

ご注意

- 電源をオフにしているときに、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因になります。
- ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因になります。

ディスクを入れる際のご注意

- ディスクは 1 枚だけ入れてください。2 枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- セロハンテープやレンタル CD のラベルなどのノリがはみ出したり、はがした跡にノリが残っているディスクは使用しないでください。そのまま使用すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

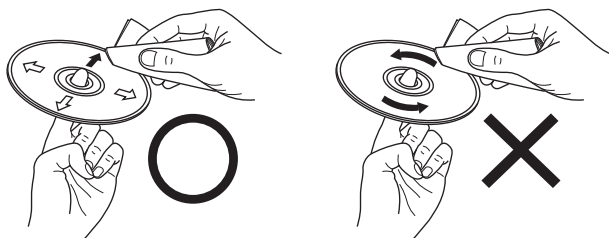
ディスクの取り扱いについて

- 指紋・油・ゴミなどを付けないでください。
- ディスクに傷をつけないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- 曲げたり、熱を加えたりしないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
- 屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクに水滴がつくことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。

保存についてのご注意

- ご使用後は、必ずディスクを取り出してください。
- ほこり・傷・変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。
- 次のような場所に置かないでください。
  1. 直射日光が長時間あたるところ
  2. 湿気・ほこりなどが多いところ
  3. 暖房器具などの熱があたるところ

ディスクのお手入れのしかた

- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れを拭き取ってから使用してください。音質が低下したり、音が途切れたりすることがあります。
- 拭き取りには、市販のディスククリーニングセットまたはやわらかい布などを使用してください。

内周から外周方向へ軽く拭く。　円周に沿っては拭かない。

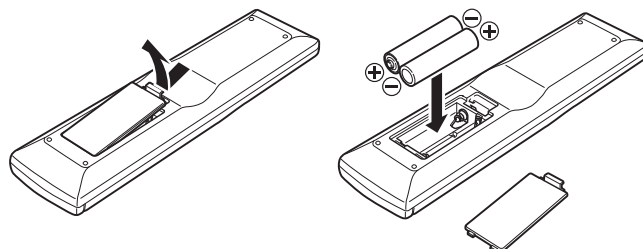
ご注意

レコードスプレーや帯電防止剤、ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

リモコンについて

乾電池の入れかた

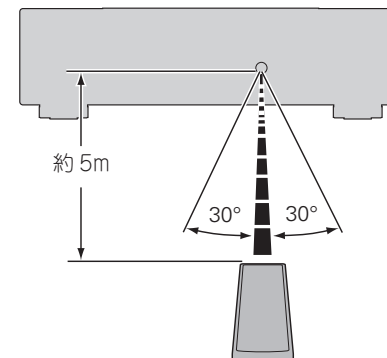
① 裏ぶたを矢印の方向に引き上げる。

② 単4形乾電池（2本）をそれぞれ乾電池収納部の表示どおりに入れる。

③ 裏ぶたを元のとおりにする。

ご注意

- リモコンには単 4 形乾電池をお使いください。
- リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。（付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換して ください。）
- 乾電池をいれるときは、リモコンの乾電池収納部の表示どおりに ⊕ 側・⊖ 側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 乾電池は充電しないでください。
  - 乾電池をショートさせたり、分解や加熱または火に投入させたりしないでください。
  - 電池を直射日光のあたるところや暖房器具の近くなど高温になるところに置かないでください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 不要になった乾電池を廃棄するときは、お住まいの地域の条例に従って処理をしてください。
- 充電式電池をお使いの場合、正しく動作しない場合があります。

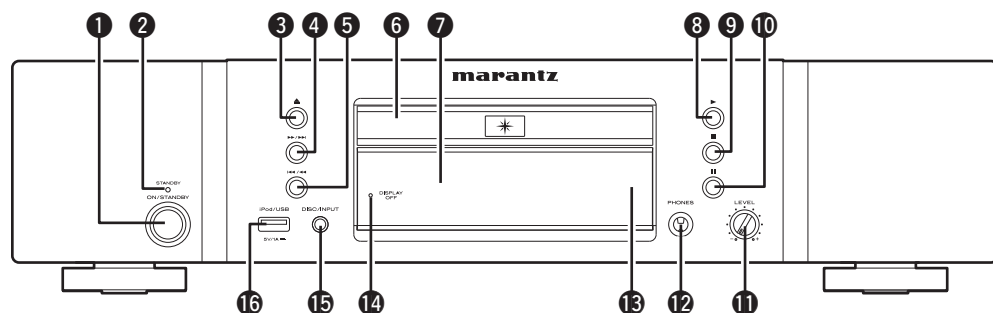
リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けてお使いください。

ご注意

リモコン受光部に直射日光やインバーター式蛍光灯の強い光または赤外線があたると、誤動作をしたり、リモコンが操作できなくなる場合があります。

各部の名前

各部のはたらきなど詳しい説明については、( )内のページをご覧ください。

フロントパネル

❶電源スイッチ
(ON/STANDBY)……………………………(11)

❷電源表示(STANDBY)……………………(11)
本機の状態により次のように変わります。
- 電源オン時 ……………………………… 消灯
- 電源スタンバイ時 ……………………… 赤色

❸ディスクトレイ開閉ボタン(▲)…………(12)

❹スキップ/サーチボタン
(▶▶/▶▶I)…………………………(12, 19, 22)

❺スキップ/サーチボタン
(I◀◀/◀◀)…………………………(12, 19, 22)

❻ディスクトレイ……………………………(12)

❼ディスプレイ…………………………………(8)

❽プレイボタン
(▶)…………………………………(12, 19, 22, 28)

❾ストップボタン(■)……………………(12, 22)

❿ポーズボタン(II)………………………(12, 22)

⓫ヘッドホン音量調節つまみ
(LEVEL)………………………………………(13)

⓬ヘッドホン端子(PHONES)………………(13)

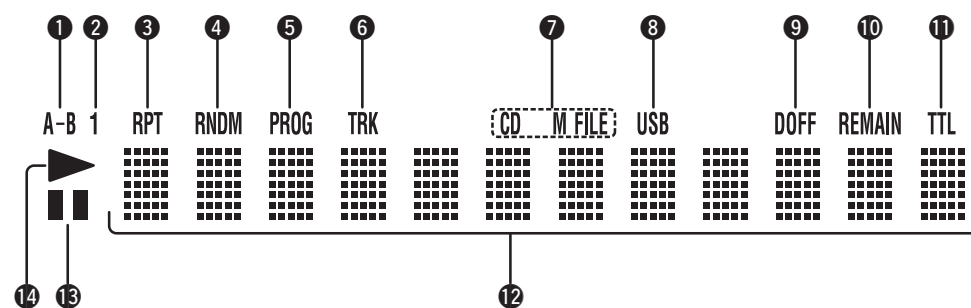
⓭リモコン受光部………………………………(7)

⓮ディスプレイオフ表示
(DISPLAY OFF)………………………………(12)

⓯ディスク/インプットボタン
(DISC/INPUT)………………(11, 12, 20, 22)

⓰USB端子(iPod/USB)………………………(17)

ディスプレイ

❶A-B表示
A-B リピート再生時に点灯します。

❷1(リピート)表示
1 曲リピート再生時に点灯します。

❸RPT(リピート)表示
リピート再生時に点灯します。

❹RNDM(ランダム)表示
ランダム再生時に点灯します。

❺PROG(プログラム)表示
プログラム再生時に点灯します。

❻TRK(トラック)表示
再生中の曲番(トラックナンバー)などの表示の上に点灯します。

❼ディスク表示
ディスクトレイ内のディスクの種類を表示します。
- CD:オーディオ CD
- M FILE:WMA/MP3/AAC

❽USB表示
USB/iPod モードで動作しているときに点灯します。

❾D OFF(デジタル出力OFF)表示
オーディオ CD 信号のデジタル出力設定を "Off" に設定しているときに点灯します (☞23 ページ)。

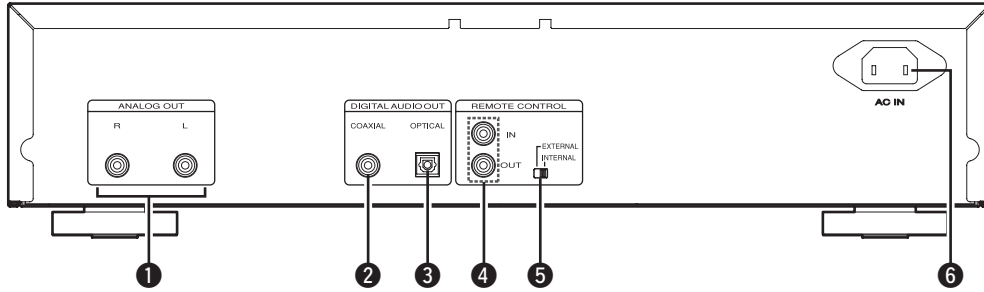
❿REMAIN(リメイン)表示
トラックの残り再生時間を表示すると点灯します。

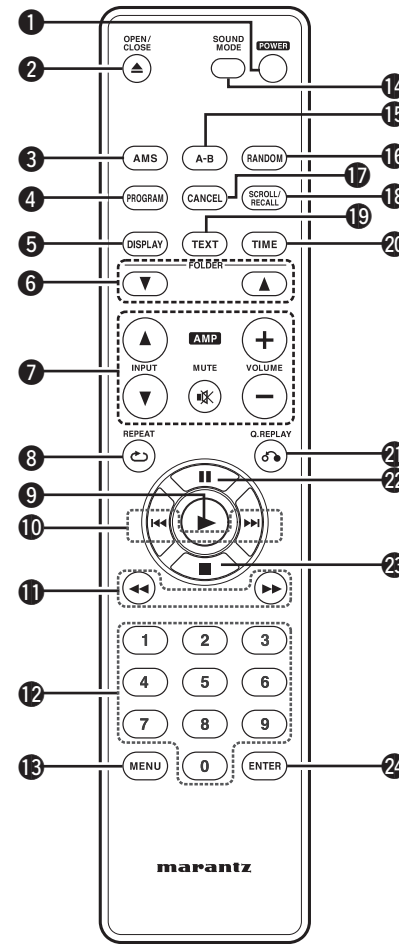
⓫TTL(トータルタイム)表示
総残り時間や、総プログラム時間を表示すると点灯します。

⓬メイン表示部
再生するディスクの時間表示、文字情報、設定メニューなどを表示します。

⓭II(ポーズ:一時停止)表示
一時停止時に点灯します。

⓮▶(プレイ:再生)表示
再生時に点灯します。

リアパネル

❶ アナログ音声出力端子（ANALOG OUT）……（10）
❷ 同軸デジタル音声出力端子（DIGITAL AUDIO OUT COAXIAL）……（16）
❸ 光デジタル音声出力端子（DIGITAL AUDIO OUT OPTICAL）……（16）
❹ リモートコントロール入出力端子（REMOTE CONTROL IN/OUT）……（17）
❺ エクスターナル/インターナルスイッチ（EXTERNAL/INTERNAL）……（17）
❻ ACインレット（AC IN）……（10）

リモコン

❶ 電源ボタン（POWER）……（11）
❷ ディスクトレイ開閉ボタン（▲）……（12）
❸ オートミュージックスキャンボタン（AMS）……（15）
❹ プログラムボタン（PROGRAM）……（14, 15）
❺ ディスプレイボタン（DISPLAY）……（12）
❻ フォルダボタン（FOLDER ▲、▼）……（22, 28）
❼ アンプ用操作ボタン
音量調節ボタン（VOLUME +、–）
入力切り替えボタン（INPUT ▲、▼）
ミューティングボタン（MUTE）
❽ リピートボタン（REPEAT）……（13, 22, 29）
❾ プレイボタン（▶）……（12, 19, 22, 28）
❿ スキップボタン（⏮、⏭）……（12, 19, 22, 23）
⓫ サーチボタン（◀◀、▶▶）……（12, 22）
⓬ 番号ボタン（0～9）……（12, 14, 15）
⓭ メニューボタン……（23）
⓮ サウンドモードボタン（SOUND MODE）……（15）
⓯ A-Bボタン……（13）
⓰ ランダムボタン（RANDOM）……（13, 22, 29）
⓱ キャンセルボタン（CANCEL）……（14, 23）
⓲ スクロール/リコールボタン（SCROLL/RECALL）……（14, 15）
⓳ テキストボタン（TEXT）……（13, 19, 21, 22）
⓴ 時間表示切り替えボタン（TIME）……（12, 19, 21, 23）
㉑ クイックリプレイボタン（Q. REPLAY）……（15）
㉒ ポーズボタン（❚❚）……（12, 22）
㉓ ストップボタン（■）……（12, 22）
㉔ エンターボタン（ENTER）……（22, 23）

- このリモコンは、マランツ製のプリメインアンプを操作することができます。
- ご使用の際は、各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

一部操作ができない製品もあります。

基本接続

この章では、アナログ機器(アンプ)と電源コードの接続方法を説明します。
その他の機器の接続方法は、以下のページをご覧ください。

❑ **USB メモリー /iPod との接続** (☞17 ページ)
❑ **リモートコントロール端子** (☞17 ページ)

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 接続ケーブルのプラグは確実に接続端子に挿入してください。不完全な接続は、雑音の原因となります。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しく L と L、R と R を接続してください。
- 入力と出力は正しく接続してください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。雑音の原因となることがあります。
- アンプの PHONO 入力端子には接続しないでください。

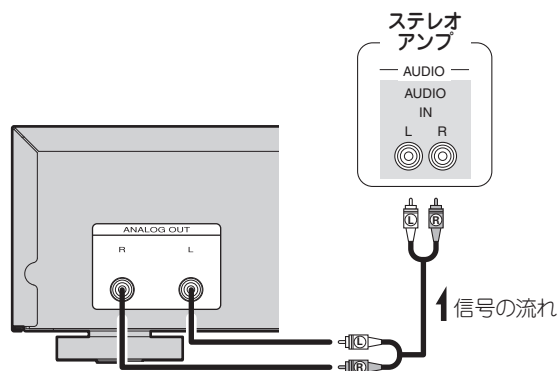
準備

接続に使用するケーブル

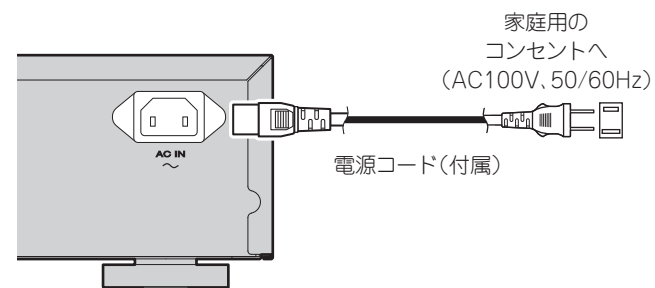
ご使用になる機器に合わせて、ケーブルをご用意ください。

音声ケーブル

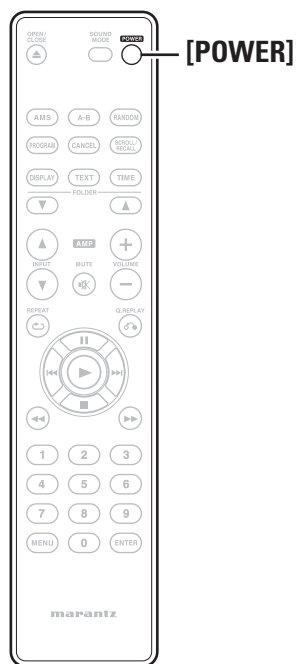
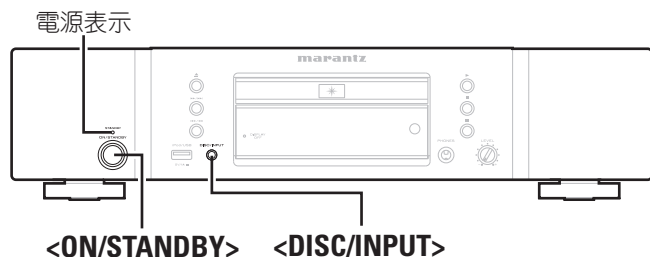
アナログ接続(ステレオ)

ステレオ音声ケーブル(付属)

アナログ接続

電源コードの接続

すべての接続が終わってから、電源コードを接続してください。

ご注意

- 電源プラグはしっかりと差し込んでください。不完全な差し込みは、雑音の原因になります。
- 本機が動作しているときは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。

基本操作

この章では、CD を再生するまでの手順、CD を再生中におこなうことができる操作を説明します。
その他の操作方法は、以下のページをご覧ください。

❏ **MP3 や WMA、AAC ファイルの再生**（☞18 ページ）
❏ **iPod® の再生**（☞20 ページ）
❏ **USB メモリーの再生**（☞21 ページ）
❏ **メニュー設定**（☞23 ページ）

準備

電源をオンにする

<ON/STANDBY> または [POWER] を押す。
電源がオンになり、電源表示が消灯します。

電源をスタンバイ状態にする

<ON/STANDBY> または [POWER] を押す。
電源がスタンバイ状態になり、電源表示が点灯します。

電源をスタンバイ状態にする前に、ディスクトレイが完全に閉まっていることを確認してください。

ご注意

- 電源をスタンバイ状態にしているときに、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因になります。
- 電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。
  長期間の外出やご旅行の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

入力ソースの切り替え

本機はディスクの再生以外に下記の再生に対応しています。

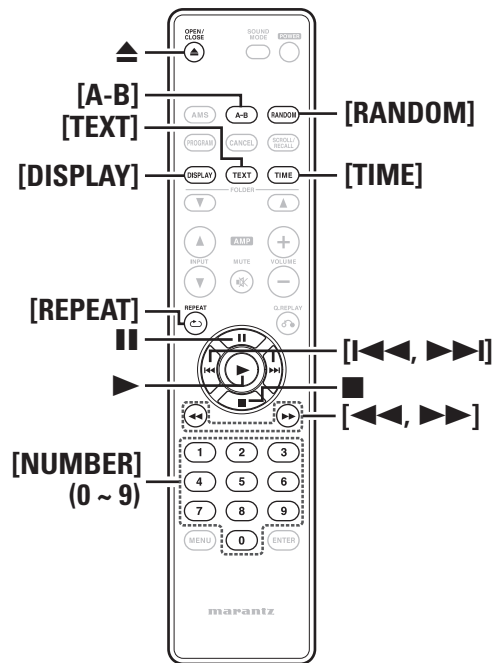
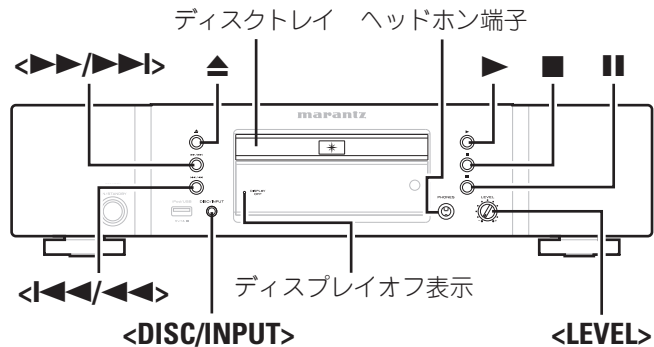
- フロントパネルの USB 端子からの USB メモリーのファイルの再生
- フロントパネルの USB 端子からの iPod ファイルの再生

接続した機器を再生する前に、次の手順で入力ソースを切り替えてください。

<DISC/INPUT> を押して、入力ソースを選ぶ。
<DISC/INPUT> を押すたびに入力ソースが次の順に切り替わります。

Disc ←→ USB

【選択できるモード】

Disc	本機のディスクトレイに入っているディスクを再生します（☞12 ページ）。
USB	フロントパネルの USB 端子（iPod/USB）に接続した機器のファイルを再生します（☞20、21 ページ）。

CD を再生する

CD を再生する

1 **<DISC/INPUT> を押して、入力ソースを“Disc” に切り替える。**

2 **ディスクを入れる。**
⏏ を押して、ディスクトレイを開閉します。
- ▶ を押すとディスクトレイが閉じ、自動的に再生をはじめます。

3 **▶ を押す。**
▶ 表示が点灯し、再生をはじめます。
- ディスクに収録されているすべての曲の再生が終わると、自動的に停止します。

再生を停止する

■ を押す。

再生を一時停止する

❚❚ を押す。
- ❚❚ 表示が点灯します。
- 再生を再開するときは、▶ または ❚❚ を押してください。

早送り / 早戻し（サーチ）をする

【本体で操作する場合】
再生中に **<I◀◀/◀◀>** または **<▶▶/▶▶I>** を長押しするとサーチをはじめます。ボタンを離すと通常の再生に戻ります。

【リモコンで操作する場合】
再生中に **[◀◀]** または **[▶▶]** を長押しするとサーチをはじめます。ボタンを離すと通常の再生に戻ります。

頭出しをする

【本体で操作する場合】
再生中に **<I◀◀/◀◀>** または **<▶▶/▶▶I>** を押す。
- 押した回数だけ曲を飛び越します。
- **<I◀◀/◀◀>** を 1 回押すと、再生中の曲の先頭に戻ります。

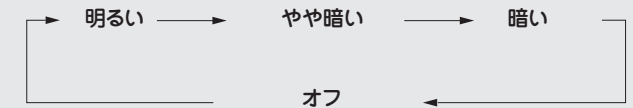
【リモコンで操作する場合】
再生中に **[I◀◀]** または **[▶▶I]** を押す。
- 押した回数だけ曲を飛び越します。
- **[I◀◀]** を 1 回押すと、再生中の曲の先頭に戻ります。

好きな曲を聴く（ダイレクト選曲）

[NUMBER]（**0 ~ 9**）で曲を選ぶ。
【例】4 曲目　：数字ボタンの **[4]** を押します。
【例】12 曲目　：数字ボタンの **[1]** と **[2]** を続けて押します。

数字ボタンを押してから約 1.5 秒後に入力が確定します。2 桁の番号を押すときは数字ボタンを続けて押してください。

ディスプレイの明るさを変更する

再生中に [DISPLAY] を押す。
[DISPLAY] を押すたびに、次の順序でディスプレイの明るさが切り替わります。

ディスプレイ表示をオフにすると、ディスプレイオフ表示が点灯します。

ご注意

停止中はディスプレイの表示を消灯しません。再生中のみ消灯します。

時間表示を切り替える

再生中に [TIME] を押す。
[TIME] を押すたびに次の順序で時間表示が切り替わります。

ヘッドホンを使って聴く

ヘッドホンのプラグをヘッドホン端子に差し込む。

音量を調節する

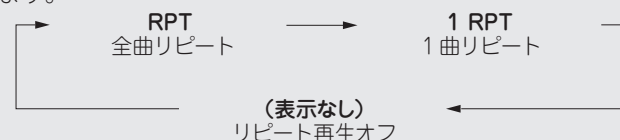
<LEVEL> を回す。

ご注意

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないように注意してください。

くり返し再生する（リピート再生）

[REPEAT] を押して、リピートモードを選ぶ。

[REPEAT] を押すたびに次の順序でリピートモードを切り替えます。

【選択できるモード】

全曲リピート “RPT”	全曲をくり返して再生します。
1 曲リピート “1 RPT”	1 曲のみをくり返して再生します。
リピート再生オフ （表示なし）	通常の再生に戻ります。

指定した部分をくり返し聴く（A-B リピート再生）

曲の中で聴きたい部分だけを指定して、くり返し再生します。

1 **再生中、くり返し聴きたい部分の開始点で、[A-B] を押す。**
ディスプレイの“A-”表示が点灯します。

2 **くり返し聴きたい部分の終わりで、[A-B] を押す。**
ディスプレイの“A-B” 表示が点灯し、指定した部分（A 点～ B 点）をくり返し再生します。

A-B リピート再生を解除するときは、**[A-B]** を押してディスプレイの“A-B”表示を消してください。

ご注意

ランダム再生中は、A-B リピート再生はできません。

順不同に再生する（ランダム再生）

停止中または再生中に [RANDOM] を押す。

ディスプレイの“RNDM” 表示が点灯し、ランダム再生をはじめます。

ランダム再生を解除する

再生中に **[RANDOM]** または ■ を押す。
ディスプレイの“RNDM” 表示が消灯し、ランダム再生モードを解除します。

ご注意

- ランダム再生中に **<▶▶/▶▶I>** または **[▶▶I]** を押すと、押すたびに本機が順不同に曲を切り替えて、再生をはじめます。
- ランダム再生中に **<I◀◀/◀◀>**、**<▶▶/▶▶I>** または **[◀◀, ▶▶]** を押し続けると、再生中の曲内をサーチします。
- 電源をスタンバイやオフにしたり、ディスクトレイを開いたりしても、ランダム再生モードを解除します。

CD-TEXT を表示する

本機では CD-TEXT が記録されたディスクの文字情報を見ることができます。
主に再生中の曲の情報を表示します。

再生中に [TEXT] を押す。

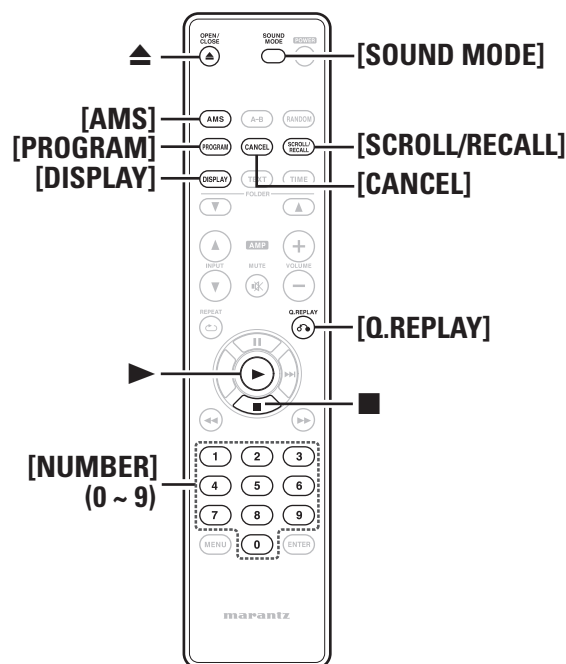
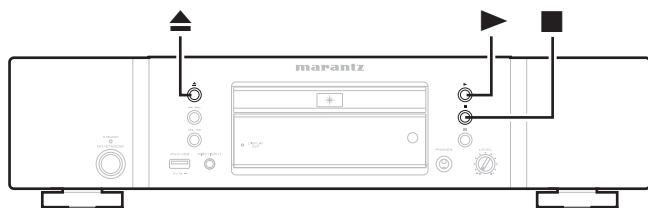
[TEXT] を押すたびに、次の順序で情報が切り替わります。

- 表示文字数は最大 32 文字です。

ご注意

記録されている情報はディスクによって異なりますので、すべての情報が表示されるとは限りません。

最初に表示させたい情報を設定するには

[TEXT] を押したときに、最初に表示させたい情報を設定できます。
設定のしかたは、「File Info（ファイル情報表示の選択）」（☞ 25 ページ）をご覧ください。

好きな順に再生する（プログラム再生）

1 **停止中に [PROGRAM] を押す。**
ディスプレイの“PROG”表示が点滅し、プログラム再生モードになります。

2 **[NUMBER]（0 ~ 9）を押して、プログラムしたい曲番を選ぶ。**

【例】3 曲目、12 曲目の順にプログラムしたいときは、**[3]** を押したあと、**[1]** と **[2]** を続けて押します。

- 数字ボタンを押してから約 1.5 秒後に入力が確定します。2 桁の番号を押すときは数字ボタンを続けて押してください。

3 **▶ を押す。**
プログラムした順番に再生をはじめます。

プログラムした内容を確認する

プログラム中またはプログラム再生中に **[SCROLL/RECALL]** を押す。

[SCROLL/RECALL] を押すたびに、プログラムした曲を順番にディスプレイに表示します

プログラム再生したい曲を追加する

① 停止中（“PROG”表示が点灯しているとき）に**[PROGRAM]** を押す。

② **[NUMBER]**（**0 ~ 9**）を押して、プログラムしたい曲番を選ぶ。

プログラムした曲を取り消す

停止中に **[CANCEL]** を押す。

[CANCEL] を押すたびに、プログラムしている最後の曲から順に取り消します。

プログラムした曲をすべて解除する

プログラム再生中は、■ を 2 回押す。

停止中は、■ を 1 回押す。

- 次の操作でもプログラム再生モードを解除できます。
  - 本機の電源をスタンバイまたはオフにする。
  - ⏏ を押してディスクトレイを開ける。

- プログラム再生は、最大 30 曲まで設定できます。
- “PROG”表示中でもリピート再生、ランダム再生、AMS 再生をおこなうことができます。

ご注意

MP3 や WMA、AAC ファイルはプログラム再生ができません。

聴かない曲をとばして再生する（デリートプログラム再生）

1 停止中に [PROGRAM] と [CANCEL] を押す。
ディスプレイの"PROG" 表示が点滅し、デリートプログラム再生モードになります。

2 [NUMBER]（0 ~ 9）を押して、とばしたい曲番を選ぶ。
【例】 3 曲目、12 曲目をとばしたいときは、[3] を押したあと、[1] と [2] を続けて押します。
- 数字ボタンを押してから約 1.5 秒後に入力が確定します。2 桁の番号を押すときは数字ボタンを続けて押してください。

3 ▶ を押す。
選択した曲をとばして再生をはじめます。

デリートプログラムした内容を確認する

デリートプログラム中またはデリートプログラム再生中に **[SCROLL/RECALL]** を押す。
[SCROLL/RECALL] を押すたびに、とばした曲を順番にディスプレイに表示します

デリートプログラム再生を解除する

デリートプログラム再生中は、■ を 2 回押す。
停止中は、■ を 1 回押す。
- ⏏ を押してディスクトレイを開けても、デリートプログラムをすべて取り消します。

デリートプログラム再生は、最大 30 曲まで設定できます。

聴きたい曲を探す（AMS 再生）

1 曲目から順番にすべての曲の先頭部分を次々に再生します。聴きたい曲を探すときに便利です。
（AMS 再生 : オートミュージックスキャン再生 ）

1 停止中または再生中に [AMS] を押す。
ディスプレイの ▶ が点滅し、約 10 秒間 AMS 再生をはじめます。
- 約 10 秒間 AMS 再生をすると、自動的に次の曲の再生に切り替わります。

2 聴きたい曲が見つかったら、▶ を押す。
▶ 表示が点灯に切り替わり、通常の再生に戻ります。

プログラム再生中およびランダム再生中でも AMS 再生をおこなうことができます。

再生中の曲を少し前に戻して聴く（クイックリプレイ）

再生中に **[Q.REPLAY]** を押すと設定した時間だけ戻って再生します（初期設定：10 sec）。

ご注意

トラックをまたいでクイックリプレイはできません。
また、再生中のトラックの総時間がクイックリプレイの設定時間より短い場合、または再生時間がクイックリプレイの設定時間より短い場合には **[Q.REPLAY]** を押すとその曲の先頭に戻って再生します。

クイックリプレイの時間を設定する

設定のしかたは、「Q Replay（クイックリプレイ）」（☞ 25 ページ ）をご覧ください。

デジタル出力を設定する

デジタル音声出力端子を使用しない場合、デジタル出力をオフにすると、より良い音質で楽しむことができます。
設定のしかたは、「CD D-OUT（CD デジタル出力の設定）」（☞ 23 ページ ）をご覧ください。

Audio EX を切り替える

本機のディスプレイおよびデジタル出力をオフにして、音声信号をより高音質で再生できる機能です。

停止中に [SOUND MODE] を押す。
[SOUND MODE] を押すたびに、次の順序で Audio EX のモードが切り替わります。

【選択できるモード】

モード	説明
Audio EX OFF	お買い上げ時の設定です。Audio EX を設定しません。 • デジタル出力：あり • ディスプレイ表示：あり
Audio EX 1	Audio EX OFF より高音質でお楽しみいただけます。 • デジタル出力：なし • ディスプレイ表示：あり
Audio EX 2	アナログの出力音声を一番高音質な状態でお楽しみいただけます。 • デジタル出力：なし • ディスプレイ表示：なし（再生中）

[DISPLAY] を押すと、約 3 秒間ディスプレイを表示します。

応用接続

この章では、USB メモリー/iPod との接続、およびリモートコントロール接続の接続方法を説明します。
その他の機器の接続方法は、以下のページをご覧ください。

❏ **アナログ接続**（☞10 ページ）
❏ **電源コードの接続**（☞10 ページ）

準備

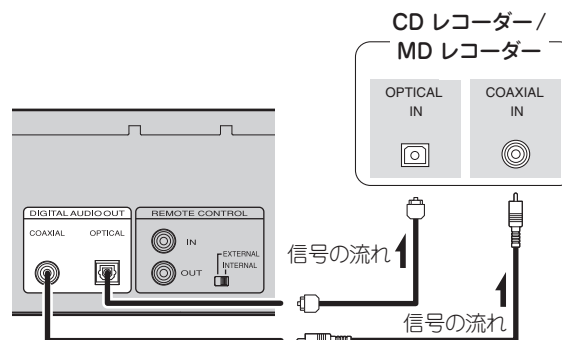
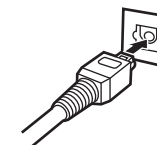
接続に使用するケーブル

ご使用になる機器に合わせて、ケーブルをご用意ください。

デジタル接続

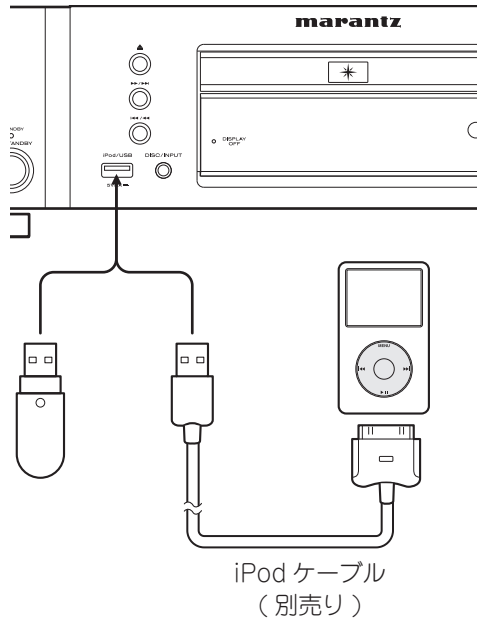
接続するときは、別売りの光伝送ケーブルまたは同軸デジタルケーブルをご使用ください。

デジタル音声出力

本機に CD レコーダーなどのデジタル録音機器を接続すると、本機から出力するデジタル音声をデジタル録音することができます。

デジタル出力端子（OPTICAL）を光伝送ケーブル（別売り）で接続するとき

形状を合わせて奥までしっかりと差し込んでください。

USB メモリー/iPod との接続

本機のフロントパネルの USB 端子に USB メモリーや iPod を接続します。

iPod ケーブル
（別売り）

ご注意

- 本機に iPhone を接続するときは、iPhone を本機から 20cm 以上離してください。iPhone を本機に近づけていると、iPhone が電話を受信したときに、本機の音声出力にノイズが入ることがあります。
- iPod/USB 端子にパソコンを直接接続しないでください。

❑対応している iPod

Made for

- iPod touch (4th generation)
- iPod touch (3rd generation)
- iPod touch (2nd generation)
- iPod touch (1st generation)
- iPod classic
- iPod with video
- iPod nano (6th generation)
- iPod nano (5th generation)
- iPod nano (4th generation)
- iPod nano (3rd generation)
- iPod nano (2nd generation)
- iPod nano (1st generation)
- iPhone
- iPhone 3G
- iPhone 3GS
- iPhone 4

iPhone

iPod touch
1st generation

iPod classic

iPod nano
3rd generation
(video)

iPhone 3G

iPod touch
2nd generation

iPod
5th generation
(video)

iPod nano
4th generation (video)

iPhone 3GS

iPod touch
3rd generation

iPod nano
1st generation

iPod nano
5th generation (video camera)

iPhone 4

iPod touch
4th generation

iPod nano
2nd generation
(aluminum)

iPod nano
6th generation

リモートコントロール端子

本機とマランツ製のアンプを組み合わせて使用するときに、アンプから本機に送られてくる操作信号を受けて本機が動作します。

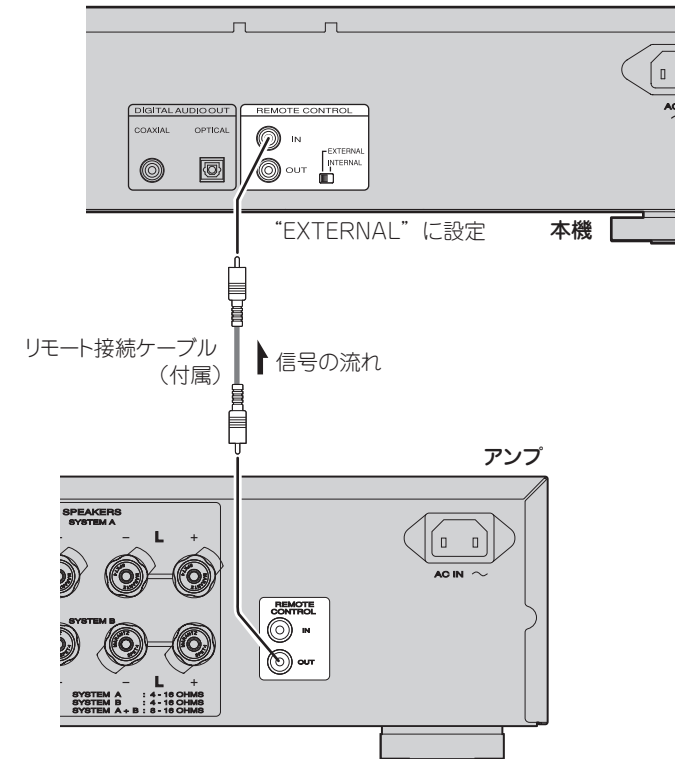
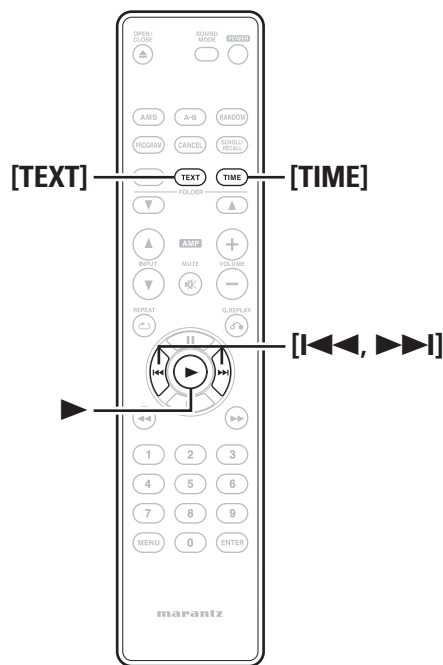
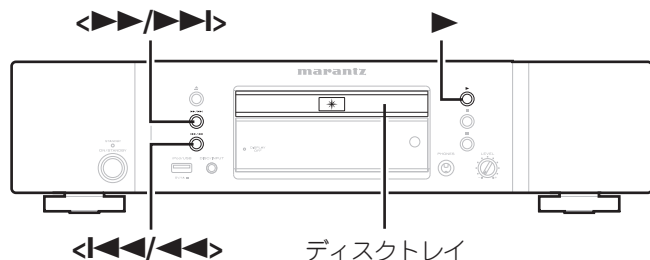
❑接続

付属のリモート接続ケーブルで、本機の REMOTE CONTROL IN 端子とアンプの REMOTE CONTROL OUT 端子を接続します。

❑設定

本機の EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“EXTERNAL”に切り替えます。

- 本機はリモコン受光部の受信を停止します。
- リモコンはアンプのリモコン受光部に向けて操作してください。

アンプを接続せずに、本機のみ使用する場合は、スイッチを“INTERNAL”に切り替えてください。

MP3 や WMA、AAC ファイルの再生

インターネットのホームページ上には、MP3 形式や WMA（Windows Media® Audio）形式の音楽ファイルをダウンロードできるさまざまな音楽配信サイトがあります。そのサイトからダウンロードした音楽（ファイル）を CD-R/CD-RW に記録することにより、本機で再生することができます。

“Windows Media”および“Windows”は、米国やその他の国で、米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。

再生できる MP3 や WMA のフォーマットについて

次のフォーマットで作成された CD-R または CD-RW ディスクを再生することができます。

❏ライティングソフトのフォーマット

ISO9660 レベル 1、2
拡張フォーマット（Juliet.Romeo）

- 他のフォーマットで記録された場合は、正しく再生できないことがあります。

❏再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

フォルダ数とファイル数の合計：511 個
最大フォルダ数：255 個

フォルダ数とファイル数の合計の最大は 512 個です。

❏ファイル形式

MP3（MPEG-1 Audio Layer-3）
WMA（Windows Media Audio）
MPEG-4/AAC（Advanced Audio Coding）

❏タグ情報

ID3 タグ（Ver.1.x と 2.x）
META タグ（タイトル、アーティストおよびアルバムに対応）

再生可能な MP3/WMA ファイル			
ファイルフォーマット	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
MP3	32/44.1/48 kHz	MPEG-1 Audio Layer-3 の場合、32～320 kbps	.mp3
WMA	44.1 kHz	48～192 kbps	.wma
AAC	32/44.1/48 kHz	8～320 kbps	.m4a

- 本機では、著作権保護のかかっていない音楽ファイルのみ再生できます。
- ファイルには必ず拡張子“.mp3”“.wma”“.m4a”を付けてください。これら以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかったファイルは再生できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

MP3 や WMA、AAC ファイルを再生する

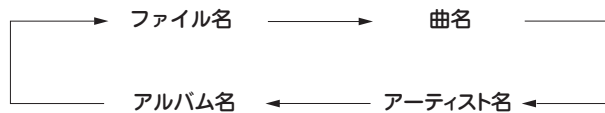
1 **MP3 や WMA、AAC 形式の音楽ファイルが記録された CD-R/CD-RW をディスクトレイに入れる。**

2 **▶ を押す。**
再生をはじめます。

再生するファイルを変更する

<I◀◀/◀◀>、**<▶▶/▶▶I>** または **[I◀◀, ▶▶I]** で再生したいファイルを選ぶ。

本機のディスプレイ表示を切り替える

再生中に **[TEXT]** を押す。
[TEXT] を押すたびに、次の順序で情報が切り替わります。

情報はスクロール表示します。

最初に表示させたい情報を設定する

[TEXT] を押したときに、最初に表示させたい情報を設定できます。
設定のしかたは、「File Info（ファイル情報表示の選択）」（☞ 25 ページ）をご覧ください。

時間表示を切り替える

再生中に **[TIME]** を押す。
[TIME] を押すたびに次の順序で時間表示が切り替わります。

（表示なし）再生中の曲の経過時間 ←→ REMAIN 再生中の曲の残り時間

MP3やWMA、AACファイルの再生順番について

MP3 や WMA、AAC ファイルを記録しているフォルダが複数ある場合、本機がメディアを読み取るときに自動的に各フォルダの再生順番を設定します。各フォルダの中のファイルを、ファイルがメディアに記録された日時が古いファイルから順に再生します。

❑フォルダの再生順序

CD-R/CD-RW

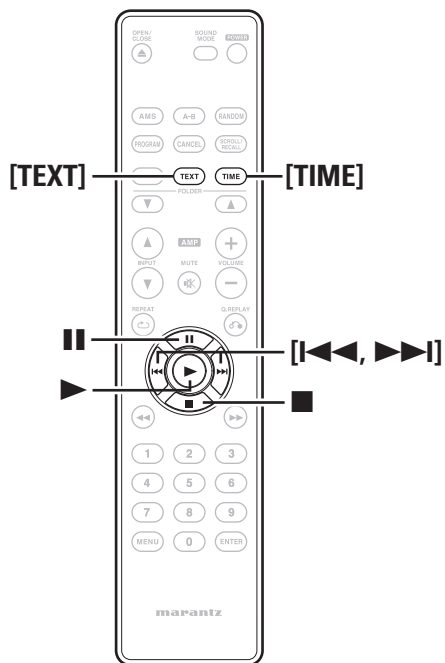
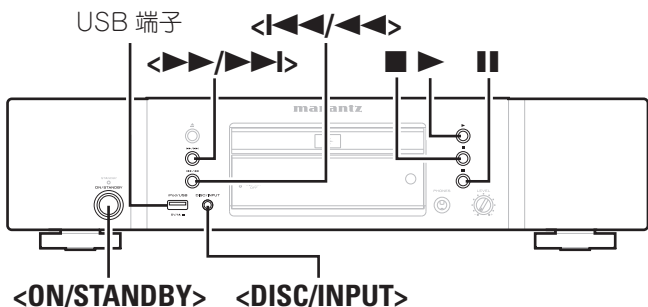
CD-R や CD-RW ディスクに記録しているファイルは、第一階層のすべてのフォルダにあるファイルを再生したあとに第二階層のすべてのフォルダ、第三階層のすべてのフォルダ……の順に再生します。

USB メモリー

USB メモリーに記録しているファイルは、第一階層の最初のフォルダにあるファイルを再生したあとに、そのフォルダ内にある第二階層のフォルダ、第三階層のフォルダ……の順に再生し、次に別の第一階層のフォルダ……の順に再生します。

- パソコン上で表示される順番と実際に再生する順番が異なる場合があります。
- CD-R/CD-RW のライティングソフトによっては、再生する順番が変わる場合があります。

ご注意

USB メモリーのフォルダやファイルを削除や追加すると、記録順とは違う順に再生をする場合があります。これはデータ記録上の仕様によるもので、故障ではありません。

iPod® の再生

iPod の音楽を聴くことができます。さらに、本機およびリモコンで iPod を操作することができます。

Made for iPod iPhone

“Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

- iPod は、著作権のないコンテンツまたは法的に複製、再生を許諾されたコンテンツを個人が私的に複製、再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

iPod® を再生する

1 <ON/STANDBY> を押す。

2 本機のフロントパネルの USB 端子に、iPod を接続する（☞17 ページ）。

3 <DISC/INPUT> を押して、入力ソースを“USB”に切り替える。

4 iPod 側で再生したいファイルを選び、再生する。

ご注意

- 第 1 世代の iPod nano と iPod with Video を接続したときには、iPod 側からの操作はできません。「Database(iPod のデータベースの選択)」（☞ 28 ページ）の操作をおこなって、iPod のファイルを再生してください。
- iPod 側から操作ができない場合は、「iPod Ctrl(iPod を操作する機器の選択)」（☞ 29 ページ）で、“iPod Ctrl=>”を“1 Direct”に設定してください。
- 本機の電源を切るときは iPod を停止または一時停止にしてください。
- 万一、iPod のデータが消失または損傷しても、当社は一切責任を負いません。
- iPod のソフトウェアのバージョンによっては、本機で操作できない場合があります。

iPod 再生時に使用できるボタン

リモコンのボタン	iPod のボタン	本機の動作
▶	▶❚❚	曲を再生する
❚❚	▶❚❚	ポーズ
■	–	フォルダの先頭の曲に戻る
I◀◀, ▶▶I	I◀◀, ▶▶I	前の曲、次の曲へスキップ 早送り、巻き戻しはできません

操作するモードを選ぶ

iPod の操作を iPod 側からおこなうか、本機や本機のリモコン側からおこなうかの設定ができます。
設定のしかたは、「iPod Ctrl(iPod を操作する機器の選択)」（☞ 29 ページ）をご覧ください。

本機のディスプレイ表示を切り替える

再生中に **[TEXT]** を押す。
[TEXT] を押すたびに、次の順序で情報が切り替わります。

最初に表示させたい情報を設定する

[TEXT] を押したときに、最初に表示させたい情報を設定できます。
設定のしかたは、「File Info（ファイル情報表示の選択）」（☞ 29 ページ）をご覧ください。

ご注意

"iPod Ctrl ＝＞" が "1 Direct"（☞29 ページ）のときには、設定を反映しません。

時間表示を切り替える

再生中に **[TIME]** を押す。
[TIME] を押すたびに次の順序で時間表示が切り替わります。

（表示なし）再生中の曲の経過時間 ←→ REMAIN 再生中の曲の残り時間

iPod を取り外す

1 ■ を押して、再生を停止する。

2 USB 端子から iPod ケーブルを抜く。

USB メモリーの再生

再生できる USB メモリーのフォーマットについて

本機では、次のフォーマットで記録されているファイルを再生できます。

❑USB 対応ファイルシステム

"FAT16" または "FAT32"

- USB メモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭ドライブのみ選択できます。

❑再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

1 つのフォルダの中の最大ファイル数：65,535 個
最大フォルダ数：700 個

❑ファイル形式

MP3（MPEG-1 Audio Layer-3）
WMA（Windows Media Audio）
MPEG-4/AAC（Advanced Audio Coding）
WAV（LINEAR PCM）

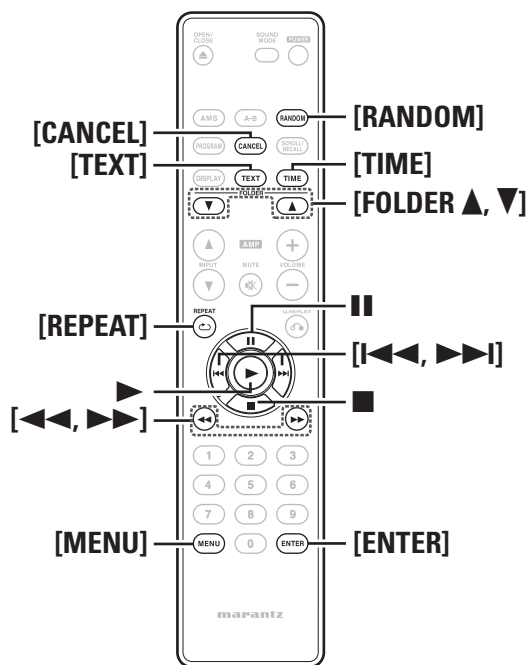
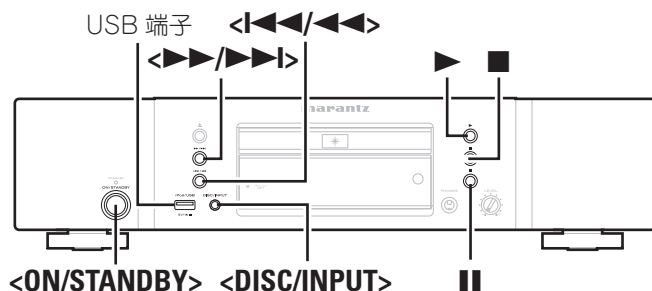
❑タグ情報

ID3 タグ（Ver.1.x と 2.x）
META タグ（タイトル、アーティストおよびアルバムに対応）

再生可能な MP3/WMA ファイル

ファイルフォーマット	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
MP3	32/44.1/48 kHz	MPEG-1 Audio Layer-3 の場合、32/40/48/56/64/80/96/112/128/160/192/224/256/320 kbps	.mp3
WMA	32/44.1/48 kHz	CBR：48～320 VBR：Peak 384 （表示は平均ビットレート値の対応となります）	.wma
AAC	32/44.1/48 kHz	8～320 kbps	.m4a
リニア PCM	リニア PCM:PCM 32/44.1/48 上記以外は対応外	リニア PCM：16 bit	.wav

本機は、著作権保護のかかっていない音楽ファイルのみを再生することができます。

- インターネット上の有料音楽サイトからのダウンロードコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

USB メモリーを再生する

1 **<ON/STANDBY>** を押す。

2 本機のフロントパネルの USB 端子に、USB メモリーを接続する（☞17 ページ）。

3 **<DISC/INPUT>** を押して、入力ソースを“USB”に切り替える。

4 **▶** を押す。
再生をはじめます。

再生中にフォルダやファイルを変更する

【本体で操作する場合】
再生中に **<I◀◀/◀◀>** または **<▶▶/▶▶I>** を押す。

【リモコンで操作する場合】
- フォルダ
  [FORDER ▲, ▼] でフォルダを選び、**[ENTER]** を押す。
- ファイル
  [I◀◀, ▶▶I] でファイルを選ぶ。

ファイルの再生順番は、本機に USB メモリーを接続したときに、本機が自動的に設定します。

再生を停止する

■ を押す。

再生を一時停止する

II を押す。
- **II** 表示が点灯します。
- 再生を再開するときは、▶ または **II** を押してください。

早送り / 早戻し（サーチ）をする

【本体で操作する場合】
再生中に **<I◀◀/◀◀>** または **<▶▶/▶▶I>** を長押しする。
- ボタンから指を離すと、通常の再生に戻ります。

【リモコンで操作する場合】
再生中に **[◀◀, ▶▶]** を長押しする。
- ボタンから指を離すと、通常の再生に戻ります。

ご注意

サーチから通常の再生に戻るときに、若干音が途切れることがあります。

くり返し再生する（リピート再生）

[REPEAT] を押す。

順不同に再生する（ランダム再生）

停止中または再生中に **[RANDOM]** を押す。
- “RNDM”表示が点灯し、自動的にランダム再生をはじめます。
- ランダム再生中に **[RANDOM]** または ■ を押すと、“RNDM”表示が消灯し、ランダム再生を解除します。

本機のディスプレイ表示を切り替える

再生中に **[TEXT]** を押す。
[TEXT] を押すたびに、次の順序で情報が切り替わります。

最初に表示させたい情報を設定する

[TEXT] を押したときに、最初に表示させたい情報を設定できます。
設定のしかたは、「File Info（ファイル情報表示の選択）」（☞ 26 ページ）をご覧ください。

時間表示を切り替える

再生中に **[TIME]** を押す。
[TIME] を押すたびに次の順序で時間表示が切り替わります。

（表示なし）再生中の曲の経過時間 ←→ REMAIN 再生中の曲の残り時間

ご注意

- 本機に USB メモリーを接続すると本機は USB メモリーに記録されているファイルを読み込みます。読み込み時間は USB メモリーに記録されている容量の大きさによって異なります。再生可能な最大ファイル数および最大フォルダ数が記録された場合は、ファイルの読み取りに数分間かかります。
- 本機の電源を切るときは、USB メモリーを停止または一時停止にしてください。
- USB メモリーを本機と接続して使用しているときに、万一 USB メモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。
- USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
- すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。

USB メモリーを取り外す

1 **■ または ❚❚ を押して、再生を停止する。**

2 **USB メモリーの通信表示が点滅していないことを確認してから、USB メモリーを抜く。**

ご注意

USB メモリーの通信表示が点滅しているときは、USB メモリーを本機から抜かないでください。USB メモリーおよび USB メモリーの記録ファイルが破損することがあります。

メニュー設定

次の機能の設定ができます。
詳しくは、各記載ページをご覧ください。

メニューの操作のしかた

1 **停止中に [MENU] を押す。**
本機のディスプレイにメニューを表示します。

2 **[I◀◀] または [▶▶I] を押して、設定したい項目を選ぶ。**

3 **[ENTER] を押して、設定を確定する。**

- 前の項目に戻るときは、**[CANCEL]** を押してください。
- メニューを終了するときは、メニュー表示中に **[MENU]** を押してください。メニュー表示が消えます。

【選択できるモード】

CD D-OUT（CD デジタル出力の設定）（☞23 ページ）
USB OUT（USB 音声出力の設定）（☞23 ページ）
Timer Play（タイマープレイの設定）（☞24 ページ）
CD Setup（ディスクに記録した MP3、WMA、AAC ファイルの操作）（☞25 ページ）
USB Setup（USB メモリーの操作）（☞26 ページ）
iPod Setup（iPod の操作）（☞28 ページ）
Auto STB（オートスタンバイ機能）（☞30 ページ）

CD D-OUT（CD デジタル出力の設定）

CD 再生時のデジタル出力のオン / オフを設定します。

1 **[I◀◀]、[▶▶I] で、“CD D-OUT=>” を選び、[ENTER] を押す。**

2 **[I◀◀]、[▶▶I] でデジタル出力の“1 On” または “2 Off”を選び、[ENTER] を押す。**

【選択できるモード】

1 On	デジタル出力します。
2 Off	デジタル出力しません。

3 **[MENU] を押す。**
設定を保存して、ディスプレイが通常表示に戻ります。

ご注意

MP3 や WMA、AAC 形式の音楽ファイルが記録された CD-R/CD-RW はデジタル出力しません。

USB OUT（USB 音声出力の設定）

USB/iPod の音声出力はデジタル出力端子かアナログ出力端子かのいずれか一方を選択します。

1 **[I◀◀]、[▶▶I] で、“USB OUT=>” を選び、[ENTER] を押す。**

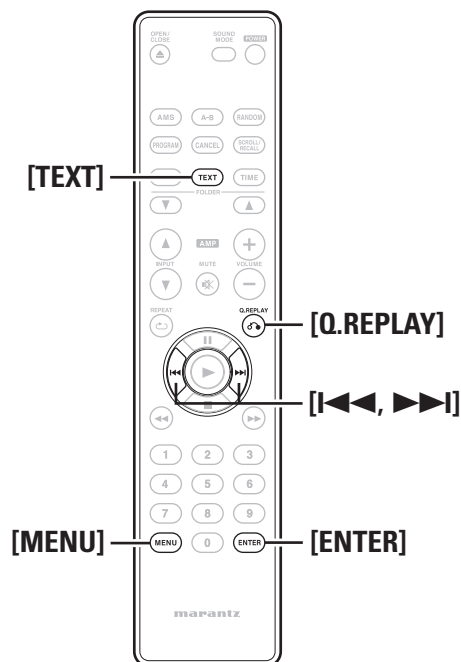
2 **[I◀◀]、[▶▶I] で、出力端子を選び、[ENTER] を押す。**

【選択できるモード】

1 Analog	本機のアナログ出力端子から音声を出力します。デジタル出力端子からは音声を出力しません。
2 Digital	本機のデジタル出力端子から音声を出力します。アナログ出力端子からは音声を出力しません。

3 **[MENU] を押す。**
設定を保存して、ディスプレイが通常表示に戻ります。

取扱説明書のボタン名の表示について

本体とリモコンの両方にあるもの ――→ **BUTTON**
本体のみにあるもの ――→ **<BUTTON>**
リモコンのみにあるもの ――→ **[BUTTON]**

Timer Play（タイマープレイの設定）

本機を別売りの外部オーディオタイマーに接続すると、指定した時間に本機の電源が入り、メディアの再生をおこないます。

1 **オーディオタイマーを本機に接続する。**

2 **再生したいメディアを本機にセットする。**

3 **[I◀◀]、[▶▶I] で、“Timer Play=>” を選び、[ENTER] を押す。**

4 **[I◀◀]、[▶▶I] で、“2 On=>”を選び、[ENTER] を押す。**

【選択できるモード】

1 Off	タイマープレイを設定しません。
2 On=>	タイマープレイを設定します。

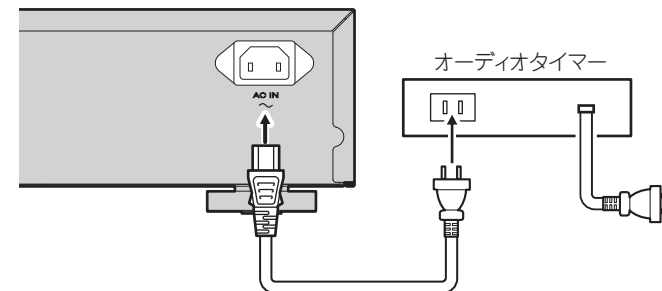
5 **[I◀◀]、[▶▶I] で再生したいメディアを選び、[ENTER] を押す。**

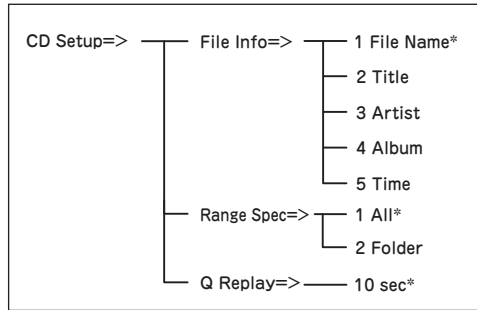
【選択できるモード】

1 CD	ディスクメディアを再生します。
2 USB/iPod=>	USB メモリーまたは iPod を再生します。

6 **[MENU] を押す。**
設定を保存して、ディスプレイが通常表示に戻ります。

7 **オーディオタイマーを設定する。**

- オーディオタイマーへの接続および操作についてはオーディオタイマーの取扱説明書をご覧ください。

CD Setup（ディスクに記録したMP3、WMA、AAC ファイルの操作）

“CD Setup”の階層は次のとおりです。

* お買い上げ時の設定

❏File Info（ファイル情報表示の選択）

本機では、ディスク再生時に、**[TEXT]** を押すと、曲の情報をディスプレイに表示できます。
ここでは、**[TEXT]** を押したときに、最初に表示させたい情報を設定します。

1 [I◀◀]、[▶▶I] で、“CD Setup=>”を選び、[ENTER] を押す。

2 [I◀◀]、[▶▶I] で、“File Info=>” を選び、[ENTER] を押す。

3 [I◀◀]、[▶▶I] で、最初に表示させたい情報を選び、[ENTER] を押す。

【選択できるモード】

1 File Name	ファイル名を表示します。
2 Title	曲名を表示します。
3 Artist	アーティスト名を表示します。
4 Album	アルバム名を表示します。
5 Time	時間情報を表示します。

4 [MENU] を押す。
設定を保存して、ディスプレイが通常表示に戻ります。

ご注意

- 音楽 CD を再生しているときは、ディスクに CD TEXT が記録されている場合のみ曲の情報を表示します。
- ディスクに含まれていない情報は表示できません。

❏Range Spec.（再生範囲の選択）

再生するとき、ディスク内のすべてのファイルを再生するか、フォルダ内のファイルを再生するかを選ぶことができます。

1 [I◀◀]、[▶▶I] で、“CD Setup=>”を選び、[ENTER] を押す。

2 [I◀◀]、[▶▶I] で、“Range Spec=>” を選び、[ENTER] を押す。

3 [I◀◀]、[▶▶I] で、再生したい範囲を選び、[ENTER] を押す。

【選択できるモード】

1 All	ディスク内のすべてのファイルを再生します。
2 Folder	選んだフォルダのファイルを再生します。

4 [MENU] を押す。
設定を保存して、ディスプレイが通常表示に戻ります。

❏Q Replay（クイックリプレイ）

[Q.REPLAY] を押したときに、再生中の曲を何秒間戻すかの設定ができます。

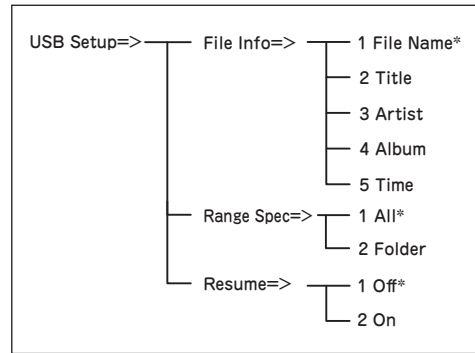
1 [I◀◀]、[▶▶I] で、“CD Setup=>”を選び、[ENTER] を押す。

2 [I◀◀]、[▶▶I] で、“Q Replay =>” を選び、[ENTER] を押す。

3 [I◀◀]、[▶▶I] で戻る時間を設定し、[ENTER] を押す。
5～60 秒の範囲で設定できます。

4 [MENU] を押す。
設定を保存して、ディスプレイが通常表示に戻ります。

USB Setup（USB メモリーの操作）

“USB Setup”の階層は次のとおりです。

* お買い上げ時の設定

❑File Info（ファイル情報表示の選択）

本機では、USB メモリー内のファイル再生時に、**[TEXT]** を押すと、MP3 等のタグ情報をディスプレイに表示できます。ここでは、**[TEXT]** を押したときに、最初に表示させたい情報を設定します。

1 [I◀◀]、[▶▶I] で、“USB Setup=>”を選び、[ENTER] を押す。

2 [I◀◀]、[▶▶I] で、“File Info=>” を 選 び、[ENTER] を押す。

3 [I◀◀]、[▶▶I] で、最初に表示させたい情報を選び、[ENTER] を押す。

［選択できるモード］

1 File Name	ファイル名を表示します。
2 Title	曲名を表示します。
3 Artist	アーティスト名を表示します。
4 Album	アルバム名を表示します。
5 Time	時間情報を表示します。

4 [MENU] を押す。
設定を保存して、ディスプレイが通常表示に戻ります。

❑Range Spec.(再生範囲の選択)

再生するとき、USB メモリー内のすべてのファイルを再生するか、フォルダ内のファイルを再生するかを選ぶことができます。

1 **[I◀◀]、[▶▶I] で、"USB Setup =>"を選び、[ENTER] を押す。**

2 **[I◀◀]、[▶▶I] で、"Range Spec=>" を選び、[ENTER] を押す。**

3 **[I◀◀]、[▶▶I] で、再生したい範囲を選び、[ENTER] を押す。**

【選択できるモード】

1 All	USB メモリー内のすべてのファイルを再生します。
2 Folder	選んだフォルダのファイルを再生します。

4 **[MENU] を押す。**
設定を保存して、ディスプレイが通常表示に戻ります。

❑Resume(レジューム再生の設定)

再生を停止したときに、停止した位置を記録するかしないかの設定ができます。レジューム再生をオンに設定すると、本機は、前回再生したファイルの先頭から USB メモリーの再生をはじめます。

1 **[I◀◀]、[▶▶I] で、"USB Setup =>"を選び、[ENTER] を押す。**

2 **[I◀◀]、[▶▶I] で、"Resume=>"を選び、[ENTER] を押す。**

3 **[I◀◀]、[▶▶I] でレジューム再生の設定の"1 Off" または"2 On"を選び、[ENTER] を押す。**

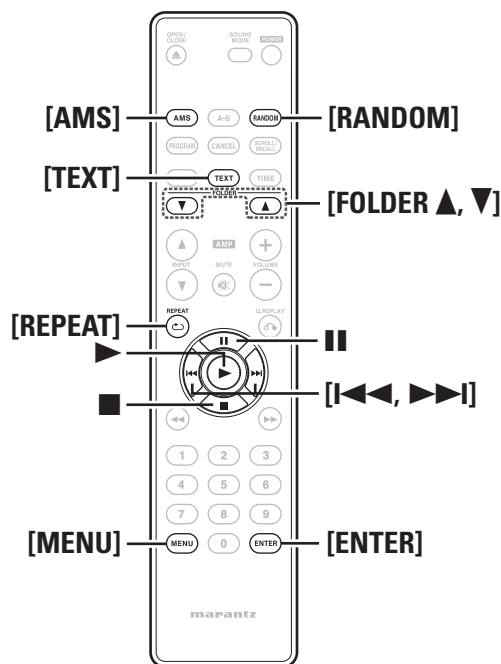
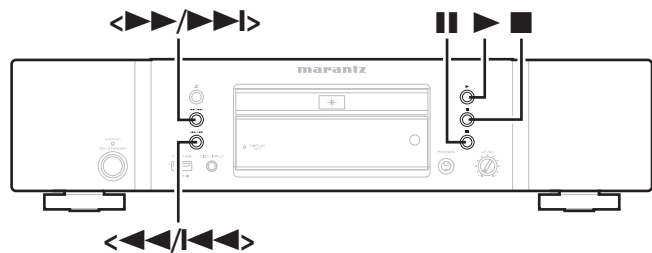
【選択できるモード】

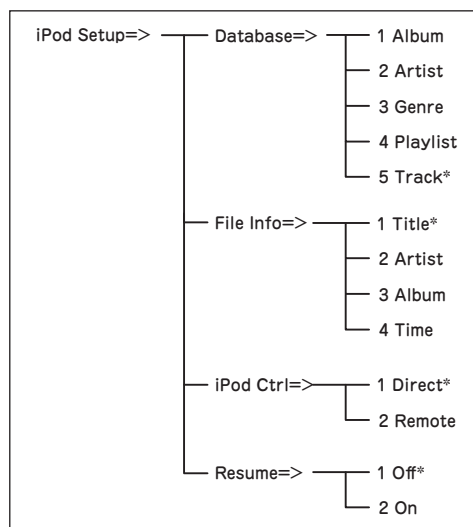
1 Off	レジューム再生を設定しません。
2 On	レジューム再生を設定します。

4 **[MENU] を押す。**
設定を保存して、ディスプレイが通常表示に戻ります。

ご注意

- USB メモリーでは、■ を押して停止すると、レジューム再生はできません。
  ❚❚ を押して一時停止状態にしてください。入力ソースを切り替えたり、本機の電源をオフにしたりしても、再び USB メモリーの再生をおこなったときには、前回再生したファイルの先頭から USB メモリーの再生をはじめます。
- レジューム再生は、同一の USB メモリーを再生したときのみ有効になります。異なる USB メモリーを再生する場合は、先頭にあるファイルから再生します。
- 同一の USB メモリーで、ファイルを追加、または削除した場合は、希望する曲から再生できない場合があります。
- レジューム再生は、再生していたファイルの先頭から再生されます。

ご使用になる前に
基本接続
基本操作
応用接続
応用操作
用語の解説
故障かな?と思ったら
保証と修理について
主な仕様
索引

iPod Setup(iPod の操作)

“iPod Setup”の階層は次のとおりです。

* お買い上げ時の設定

❑Database(iPod のデータベースの選択)

再生したいファイルを iPod 内のどのデータベースから選ぶか設定します。

1 **[I◀◀]、[▶▶I] で、“iPod Setup=>”を選び、[ENTER] を押す。**

2 **[I◀◀]、[▶▶I] で、“Database=>” を 選 び、[ENTER] を押す。**

3 **[I◀◀]、[▶▶I] で再生するファイルのデータベースを選び、[ENTER] を押す。**

【選択できるデータベース】

1 Album	アルバムからファイルを探します。
2 Artist	アーティストからファイルを探します。
3 Genre	ジャンルからファイルを探します。
4 Playlist	プレイリストからファイルを探します。
5 Track	曲名からファイルを探します。

4 **[MENU] を押す。**
設定を保存して、ディスプレイが通常表示に戻ります。

5 **[FORDER ▲, ▼] で再生したいファイルが入っているフォルダを選び、[ENTER] を押す。**
フォルダに含まれているファイルを表示します。

6 **再生したい音楽ファイルを [I◀◀]、[▶▶I] で選び、▶ を押す。**
再生をはじめます。

ご注意

“iPod Ctrl=>”(☞29 ページ) で“1 Direct” を選択しているときは、設定できません。

❑File Info（ファイル情報表示の選択）

本機では、iPod 内のファイル再生時に、**[TEXT]** を押すと、ファイルの情報をディスプレイに表示できます。

ここでは、**[TEXT]** を押したときに、最初に表示させたい情報を設定します。

1 **[I◀◀]、[▶▶I] で、"iPod Setup=>"を選び、[ENTER] を押す。**

2 **[I◀◀]、[▶▶I] で、"File Info=>" を選び、[ENTER] を押す。**

3 **[I◀◀]、[▶▶I] で、最初に表示させたい情報を選び、[ENTER] を押す。**

【選択できるモード】

1 Title	曲名を表示します。
2 Artist	アーティスト名を表示します。
3 Album	アルバム名を表示します。
4 Time	時間情報を表示します。

4 **[MENU] を押す。**
設定を保存して、ディスプレイが通常表示に戻ります。

ご注意

"iPod Ctrl =>" が "1 Direct" のときは、ファイル情報の表示順は変更できません。

❑iPod 再生時に使用できるボタン

リモコンのボタン	本機の動作
▶	曲を再生する
II	ポーズ
■	フォルダの先頭の曲に戻る
I◀◀, ▶▶I	前の曲、次の曲へスキップ 早送り、巻き戻しはできません
REPEAT	リピート再生の切り替え
RANDOM	シャッフル再生の切り替え
AMS	曲の先頭を約 10 秒間再生し次のトラックへスキップ
TEXT	ディスプレイ表示を切り替える

❑iPod Ctrl（iPod を操作する機器の選択）

iPod の操作を iPod 側からおこなうか、本機や本機のリモコン側からおこなうかの設定ができます。

1 **[I◀◀]、[▶▶I] で、"iPod Setup=>"を選び、[ENTER] を押す。**

2 **[I◀◀]、[▶▶I] で、"iPod Ctrl=>" を選び、[ENTER] を押す。**

3 **[I◀◀]、[▶▶I] で操作をおこないたい機器のモードを選び、[ENTER] を押す。**

【選択できるモード】

1 Direct	iPod に表示される画面を見ながら、直接 iPod 本体を操作するモードです。
2 Remote	iPod の情報を本機のディスプレイに表示させて操作するモードです。

表示モード		1 Direct	2 Remote
表示するディスプレイ		iPod の ディスプレイ	本機の ディスプレイ
再生できるファイル	音声ファイル	○	○
	映像ファイル	○*	×
操作できるボタン	本機とリモコン	○	○
	iPod	○	×

＊ 音声のみ再生します。

- **"2 Remote" に設定したときの再生のしかたは、「Database（iPod のデータベースの選択）」（☞ 28 ページ）をご覧ください。**

4 **[MENU] を押す。**
設定を保存して、ディスプレイが通常表示に戻ります。

"1 Direct" に設定していても、再生、一時停止、スキップおよび停止は本機のリモコンで操作できます。

ご注意

第 1 世代の iPod nano および iPod with Video は "1 Direct" に対応していません。接続すると自動的に "2 Remote" モードに切り替わります。

❑Resume（レジューム再生の設定）

再生を停止したときに、停止した位置を記録するかしないかの設定ができます。レジューム再生をオンに設定すると、本機は、前回再生したファイルの先頭から iPod の再生をはじめます。

1 **[I◀◀]、[▶▶I] で、"iPod Setup=>"を選び、[ENTER] を押す。**

2 **[I◀◀]、[▶▶I] で、"Resume=>"を選び、[ENTER] を押す。**

3 **[I◀◀]、[▶▶I] でレジューム再生の設定の"1 Off" または"2 On"を選び、[ENTER] を押す。**

【選択できるモード】

1 Off	レジューム再生を設定しません。
2 On	レジューム再生を設定します。

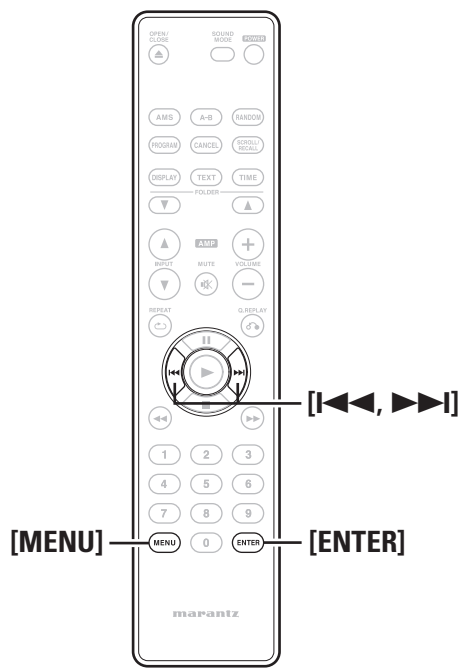
4 **[MENU] を押す。**
設定を保存して、ディスプレイが通常表示に戻ります。

ご注意

iPod では、■ を押して停止すると、レジューム再生はできません。

II を押して一時停止状態にしてください。入力ソースを切り替えたり、本機の電源をオフにしたりしても、再び iPod の再生をおこなったときには、前回再生したファイルの先頭から iPod の再生をはじめます。

取扱説明書のボタン名の表示について

本体とリモコンの両方にあるもの ——→ **BUTTON**
本体のみにあるもの ——→ **<BUTTON>**
リモコンのみにあるもの ——→ **[BUTTON]**

Auto STB(オートスタンバイ機能)

停止状態が 30 分以上続いたとき、本機を自動的にスタンバイ状態にします。

1 **[I◀◀]、[▶▶I] で、"Auto STB=>"を選び、[ENTER] を押す。**

2 **[I◀◀]、[▶▶I] でオートスタンバイ機能の"1 On" または"2 Off"を選び、[ENTER] を押す。**

【選択できるモード】

1 On	お買い上げ時の設定です。オートスタンバイ機能を有効にします。
2 Off	オートスタンバイ機能を無効にします。

3 **[MENU] を押す。**
設定を保存して、ディスプレイが通常表示に戻ります。

用語の解説

M

MP3 (MPEG Audio Layer-3)
音声データ圧縮方式の 1 つで、国際的な標準規格です。
映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。
音楽 CD レベルの音質を保ったまま、約 1/11 のデータ容量に圧縮しています。

W

WMA (Windows Media Audio)
米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。
WMA データは、Windows Media® Player Ver.7、7.1、Windows Media® Player for Windows® XP または Windows Media® Player 9 Series を使用してエンコード(符号化)することができます。
WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation より認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

さ

サンプリング周波数
サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。
1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

は

ビットレート(Bit rate)
ディスクに記録された映像 / 音声データを 1 秒あたりに何ビットのデータに処理したかを表します。この数値が大きいほど音質は向上しますが、ファイルサイズは大きくなります。

故障かな？と思ったら

❑ 各接続は正しいですか

❑ 取扱説明書に従って正しく操作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
もし、お買い上げの販売店でおわかりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

【 ディスク 】

症　状	原因	処置	ページ
ディスクが回らない。	•電源プラグがコンセントから抜けている。	•電源プラグをコンセントに差し込んでください。	10
	•本機の電源が入っていない。	•本機の電源をオンにしてください。	11
	•ディスクが正しい位置に入っていない。	•ディスクを正しく載せてください。	6
	•ディスクが裏表さかさまに入っている。（ディスクの印刷面が下になっている。）	•ディスクを正しく載せてください。	6
ディスクが途中で回らなくなり、止まる。	•ディスクが汚れている。	•ディスクの表面をきれいにしてください。	7
	•ディスクに傷がついている。	•傷が多いディスクの場合、再生できないことがあります。	-
	•ディスクが反っている。	•ひどく反ったディスクの場合、再生できないことがあります。	-
ディスクは回るが音が出ない。	•アンプ・スピーカーの接続が正しくない。	•ケーブル類を正しく接続してください。（アンプの取扱説明書をご覧ください。）	10
	•アンプの電源がオンになっていない。	•アンプの電源を入れてください。（アンプの取扱説明書をご覧ください。）	-
	•アンプの入力ソースまたはセレクタースイッチが“CD”または“AUX”など（本機と接続した端子）に切り替えられていない。	•アンプの入力ソースまたはセレクタースイッチが“CD”または“AUX”など（本機と接続した端子）に切り替えてください。（アンプの取扱説明書をご覧ください。）	-
	•アンプのボリュームが最小になっている。	•アンプのボリュームを調節してください。（アンプの取扱説明書をご覧ください。）	-
CD-R/CD-RW ディスクが再生できない。	•ディスクが裏表さかさまに入っている。	•ディスクを正しく載せてください。	6
	•記録されている情報が音楽用（CD-DA）フォーマットではない。またはMP3/WMA/AAC ファイルが正しく記録されていない。	•本機に対応した正しい情報を記録してください。	18
デジタル音声出力ができない。	•“CD D-OUT”の設定が“2 OFF”になっている。	•“CD D-OUT”を“1 ON”に設定してください。	23
	•“Audio EX”の設定が“Audio EX 1”または“Audio EX 2”になっている。	•“Audio EX”を“Audio EX OFF”に設定してください。	15

【ディスプレイ】

現象	原因	処置	ページ
ディスプレイに“OverCurrent”と表示される。	•本機から USB 経由で供給できる電力を超えています。	•未対応の USB メディアです。動作負荷電流 1A 以下のものをご利用ください。	–
ディスプレイに“FAT Error”または“Cluster Err”と表示される。	•未対応のファイルシステムを使用しています。または128MB 以下の USB メモリーは対応できません。	•対応するファイルシステム(FAT32 または FAT16)でフォーマットされた、256MB 以上の USB メモリーをご利用ください。	–
ディスプレイに“No File”と表示される。	•本機で再生可能なファイルが存在しません。	•対応フォーマットをご確認ください。	18、21
ディスプレイに“DRM Stream”と表示される。	•デジタル著作権管理されているファイルです。	•本機では未対応の DRM のため再生できません。	19、21
再生中にディスプレイが点灯しない。	•“Audio EX”の設定が“Audio EX 2”になっている。	•“Audio EX”を“Audio EX OFF”または“Audio EX 1”に設定してください。	15

【USB/iPod】

現象	原因	処置	ページ
USB メモリーを接続しても音が出ない。	•アンプ・スピーカーの接続が正しくない。	•ケーブル類を正しく接続してください。(アンプの取扱説明書をご覧ください。)	17
	•アンプの電源がオンになっていない。	•アンプの電源をオンにしてください。(アンプの取扱説明書をご覧ください。)	–
	•アンプの入力ソースまたはセレクタースイッチが“CD”または“AUX”など(本機と接続した端子)に切り替えられていない。	•アンプの入力ソースまたはセレクタースイッチが“CD”または“AUX”など(本機と接続した端子)に切り替えてください。(アンプの取扱説明書をご覧ください。	–
	•アンプのボリュームが最小になっている。	•アンプのボリュームを調節してください。(アンプの取扱説明書をご覧ください。)	–
iPod を接続しても音が出ない。	•第 5 世代以前の iPod には未対応です。	•“対応している iPod”を参照してください。	17
	•アンプ・スピーカーの接続が正しくない。	•ケーブル類を正しく接続してください。(アンプの取扱説明書をご覧ください。)	17
	•アンプの入力ソースまたはセレクタースイッチが“CD”または“AUX”など(本機と接続した端子)に切り替えられていない。	•アンプの入力ソースまたはセレクタースイッチが“CD”または“AUX”など(本機と接続した端子)に切り替えてください。(アンプの取扱説明書をご覧ください。)	–
	•アンプのボリュームが最小になっている。	•アンプのボリュームを調節してください。(アンプの取扱説明書をご覧ください。)	–
USB メモリーの読み込みに時間がかかる。	•容量の大きい USB メモリーを接続したとき、容量によっては読み込みに時間がかかります。大容量のときは読み込みに数分かかることもあります。	•読み込みが完了するまでお待ちください。	–
USB メモリーや iPod に保存されている音楽を再生時に、本機から音声が出ない。	•“USB OUT”の設定が“2 Digital”になっている。	•“USB OUT”を“1 Analog”に設定してください。	23

【リモコン】

症　状	原因	処置	ページ
リモコン操作ができない。	•本機とリモコン間の距離が遠すぎる。	•本機に近づいて、操作範囲内で操作してください。	7
	•本機とリモコン間に障害物がある。	•障害物を取り除いてください。	7
	•リモコンの電池が切れている。	•電池をすべて新しいものに取り替えてください。	7
	•本機のリモコン受光部に強い光があたっている。	•リモコン受光部に強い光があたらないようにしてください。	7
	•リアパネルの REMOTE CONTROL スイッチが EXTERNAL 側になっている。	•本機を単独で使用する場合、スイッチを INTERNAL 側にしてください。	17

保証と修理について

❏保証書

この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から１年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは、保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は、有料修理になりますので、ご注意ください。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。
有料修理の料金については、『製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内』に記載の、お近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

❏修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の『故障かな？と思ったら』の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 添付の『製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内』に記載の、お近くの修理相談窓口へご相談ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

❏依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名…………取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号………保証書または製品背面（または底面や側面）に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

❏補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後８年です。

❏お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

主な仕様

❏ オーディオ特性

項目	仕様
• アナログ出力	
チャンネル：	2 チャンネル
再生周波数範囲：	2Hz～20kHz
再生周波数特性：	2Hz～20kHz
SN 比：	110dB
ダイナミックレンジ：	100dB
高調波歪率：	0.002％（1kHz）
ワウ・フラッター：	水晶精度
• 出力レベル：	
信号方式：	2.2V　RMS stereo
ヘッドホン出力：	28mW/32Ω（可変最大）
• デジタル出力	
同軸出力（ピンジャック）:	0.5Vp-p (75 Ω)
光出力（角型光コネクター）:	-19dBm
• 光学読み取り方式	
レーザー：	AlGaAs
波長：	780nm
信号方式	16-bit linear PCM
サンプリング周波数：	44.1kHz

❏ 総合

項目	仕様
電源：	AC100V 50/60Hz
消費電力：	32W（電気用品安全法による） 0.3W 以下（スタンバイ時）
許容動作温度：	+5˚C ～ +35˚C
許容動作湿度：	5 ～ 90% (結露のないこと)

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。
必ず AC100V のコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。

索引

寸法

単位：mm

質量：6.6kg

marantz®

お客様ご相談センター

☎ 03-3719-3481

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】

受付時間　9：30 ～ 12：00、13：00 ～ 17：00
（当社休日および祝日を除く、月～金曜日）

修理に関するお問い合わせは、
添付の**「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」**をご覧ください。

後日のために記入しておいてください。

購入店名：	電話（　　-　　-　　）
ご購入年月日：　　年　　月　　日	

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

当社の最新情報をインターネット上でご覧ください。
http://www.marantz.jp

V00

Printed in China　54111073101AS